



沿線は芋の収穫真っ盛り(10/22)

おらが湊鐵道応援団報

第115号
勝田 | 阿字ヶ浦

九州でもお元気で!キハ2004

留萌→那珂湊→筑豊 50年間の“車両人生”



前田会長(右)と吉田社長、佐藤応援団長(10/12)



大型トレーラーで移送

引退した旧型車の今後

長年湊線で活躍してきた旧型車両のうち3両が、寄る年波に勝てず昨年引退しました。貴重な車両の引退とあって、ファンや市民の方から今後の動向についていろいろなおアドバイスやご意見をいただいています。

そんな中、旧国鉄準急色を纏ったキハ2004が平成筑豊鉄道で動態保存されることとなり、10月17日、無事現地に到着しました。馴染んでいた車両が遠く九州に行ってしまうことを残念に思う方も多かったのですが、解体の可能性もあった車両を「ぜひとも」と引き取っていただき、しかも動く姿で保存されるとすれば、お嫁に出す側にとっても彼女にとっても幸せなことと思います。

さて、残る2両、キハ2005とキハ222について。キハ2005は、部品取りなどで動くことはできませんが、その姿は現役時代と大きな違いはありません。引き取っていただけるのなら、喜んでお譲りしたいところです。

キハ222については、現役時代は日本国内でただ1両生き残ったキハ22型車両として、文化財価値も非常に高いものです。「湊線の走るまち ひとちなか市」のシンボルとして、日本初ステンレス気動車キハ601と合わせ、地元で永く保存できる方法はないものか、と思索しております。

(ひとちなか海浜鉄道社長 吉田千秋)

昭和41年製造で、北海道・留萌鉄道から44年に湊線に移籍、昨年現役を退いたキハ2004が、今度は九州福岡・平成筑豊鉄道で動態保存されることになり、10月13日深夜、那珂湊から旅立ちました。

同鉄道では昭和30年代、旧国鉄準急色のほぼ同型の気動車「ひかり号」が走った経緯があり、同鉄道の応援団「キハ2004号を守る会」(前田忠会長)が、インターネット募金で移送費用を捻出しました。

12日には前田会長と同会幹事の2人が那珂湊を訪れ、移送の打ち合わせや応援団員らとの交流を図り、翌13日深夜の那珂湊出発後もフェリーで運ばれる車両を東京港まで見送りました。

湊線現役時代のキハ2004は、冷房なしで床は板張り。昭和を感じさせるレトロな気動車として人気がありました。那珂湊駅出発では、深夜にもかかわらず、最後の別れを惜しむ鉄道ファンが多数訪れました。

17日に平成筑豊鉄道の保存場所・金田駅に到着したキハ2004は、早速、前田会長らによって、エンジンを起動、同駅構内を試走したそうです。約50年間の「車両人生」は、活躍した那珂湊を経て、再度かつての炭鉱地帯へ。九州でも未長く愛されてほしいものです。

※写真右は金田駅構内に降ろされるキハ2004。同保存会に提供をいただきました。



目指します! 5回目の「絵手紙列車」

10月5日から10日まで、勝田駅東口のギャラリーで「湊線応援絵手紙展」を開きました。

平成25年から始まった私達の活動は、全国からの応援絵手紙を募集し、夏の間走行する車両にこれまで4回展示、秋にはギャラリー展で市民

の方へもPR。年毎の沿線スケッチや応援隊の様子も紹介しています。昨年は過去に集まった絵手紙を集めて、みなとメディアミュージアム(MMM)にも参加しました。来期の絵手紙列車の計画も始まり期待が膨らみます。機会があれば、今までの1000枚を使い、MMMに再挑戦して那珂湊の特質を表現したいと夢見ています。数年の活動からご縁は広がりと深まりを増し、度々感動も味わっています。(湊線絵手紙応援隊 代表 山口浩子さん)



ローカル鉄道フェア

11月5日と6日に市総合運動公園で開催される産業交流フェアで、ローカル鉄道フェアとして、秋田内陸縦貫鉄道、由利高原鉄道、山形鉄道、真岡鉄道の4社が海浜鉄道とともに鉄道グッズや名産品を販売します。また、6日には、みなとメディアミュージアムのワークショップも出展します。お立ち寄りください。

納豆列車出発進行



粘り強く廃線の危機を乗り越えた湊線にあやかって、10月22日、5回目の納豆列車が県納豆商工業組合の主催で運行されました。那珂湊駅ホームでの出発式には那珂湊中吹奏楽部の演奏があり、那珂湊高校のみなとちゃんや水戸市の梅大使も参加しました。旧型車キハ205を使った同列車の車内では、用意された納豆とご飯に好きなトッピングができる趣向。車内は食堂車に変身しました。

中根駅からレンタサイクルで虎塚古墳

海浜鉄道では国指定史跡の虎塚古墳石室壁画の秋季一般公開に合わせて、中根駅からのレンタサイクル無料貸出しを行います。期間は10月27日(木)から10月30日(日)と、11月3日(木)から6日(日)までの8日間。受付時間は午前8時から午後2時30分、勝田駅湊線窓口と那珂湊駅で自転車の鍵を借りて中根駅から利用ができます。保証金1,000円は鍵の返却時に返金されます。

野菜と干物の朝市 毎月第一日曜日に開催

11月6日(日) 午前9時~11時頃まで 那珂湊駅1番線ホーム

野菜の高騰が続いているためか、最近朝市が盛況です。値段は100円からと格安。物によっては開店とほぼ同時に売り切れてしまいます。

湊線沿線の「いま」がわかる! 応援団facebookページ「いいね!」6,460名を達成しました!

【海浜鉄道関係】
◇ホームページ <http://www.hitachinaka-rail.co.jp/>
◇ツイッター <http://twitter.com/minatoline>
【応援団関係】
◇フェイスブック <http://www.facebook.com/MinatoLineSupporters>
◇ツイッター <http://twitter.com/keha601>
◇応援団HP <http://minatosen.com> (湊線どっと混む)

※「ひとちなか海浜鉄道」「おらが湊鐵道応援団facebook」でそれぞれ検索もできます。

リレー随想

殿山駅の花壇整備を続けています

滞つくし会会長 荻谷 信之さん

滞つくし会は東日本大震災の年に発足しました。メンバーは湊二高時代の保護者や先生方十数名で構成しております。本年度からは湊二高の同窓会の方々にも支援をいただいております。



滞つくし会のみなさん。右端が荻谷さん

湊線が廃止という危機的な時に、湊二高の生徒たちが「はまぎく応援団」を結成し、『乗って残そう湊線』をスローガンに掲げ、生徒・先生方の支援で守ってきた殿山駅です。本会では駅を気持ち良く利用していただくために、月に一度の草取り、季節の花の苗を植えております。地元の自治会の方々のご協力も大きな支えとなっております。

また本会の地域貢献として、勝田全国マラソン大会のボランティアも行っていきます。会員の親睦行事ではバーベキュー、日帰り旅行、食事会、そば打ち体験なども交えて活動しています。

殿山駅では湊二高の生徒・先生が製作した湊二高の校章が刻まれたモニュメントが建てられており、コノハズクの「福ちゃん」がお出迎えています。これからも絆を大切に活動していきたいと思っております。

花言葉は「逆境に立ち向かう」

ひとちなか市の花・ハマギクが沿線で見頃を迎えています。花言葉は「逆境に立ち向かう」。廃線の危機にあった湊線復活のシンボルの花です。

2007年7月、当時の那珂湊二高の生徒さんが育苗した1600株を沿線の皆さんが沿線や駅などに植え、今も受け継がれています。10月8日には那珂湊駅西側花壇で、周辺4自治会50人のみなさんが下草取りをしてくださいました。



那珂湊駅西側花壇(10/8)



阿字ヶ浦駅(10/26)

各駅の清掃・環境整備ありがとうございます

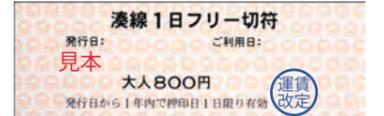
駅名	11月6日(日)	12月4日(日)
中根	柳沢美田多・相金・三反田班	
高田の鉄橋	柳が丘・関戸町・田中町自治会	
那珂湊	小川龍之口町	神敷台 部田野小谷金十三奉行
殿山	七町目・牛久保町	和田町・殿山町
平磯	平磯・平磯清水町自治会	
磯崎	磯崎町自治会	
阿字ヶ浦	阿字ヶ浦自治会	

朝8:30(中根駅は7:30・高田の鉄橋駅は8:00)から実施しています。

秋の硬券フリー切符&応援券を発売中



フリー切符900円+応援券100円
セット価格 1,000円
売上げの一部は応援団の活動費に使われています。



応援団オリジナル 平日も那珂湊駅窓口で販売 ポストカード 好評販売中

駅猫セットなど 5枚組...350円
絵手紙セット 12枚組...800円

「乗車証明書」でおトク!

- ★乗車証明書は、湊線に乗車したお客様に駅員または応援団が発行する乗車特典のサービスです。証明書を参加店舗に提示することにより各店独自の優待が受けられます(スタンプ当日限り有効)。現在沿線100店(施設)近くが参加し、お買物や宿泊などで優待があります。
- ★サービスは乗車当日なら、何店でも利用できます。
- ★参加店は那珂湊駅待合室に置かれたチラシ、証明書に印刷されたQRコード、海浜鉄道HPまたは応援団facebookページでご確認ください。
- ★乗車証明書裏面に印刷されたQRコードで湊線時刻表と応援団facebookページも確認できます。
- ★乗車証明書は湊線フリー切符でも代用できます。

